

2020年2月28日

2020年度～2021年度東京センター研修教材作成のための翻訳・校閲業務（単価契約）（企画競争（プロポーザル方式選定））

（公告日：2020年2月17日）について、企画競争説明書に関する質問と回答は以下のとおりです。

独立行政法人国際協力機構
東京センター

| 通番 | 該当頁 | 項目 | 質問 | 回答 |
|----|----------------------|-------------------------|--|---|
| 1 | P. 2 | 第1 3. (3) 業務履行期間（予定） | 契約期間が前回までの3年間とは異なり、今回から2年間となりましたが、理由が開示可能であればご教示ください。 | 当機構の事業計画等に鑑み設定しています。 |
| 2 | P. 3 | 5. 競争参加資格 (3) 2) 再委託 | 翻訳業界の特性上、翻訳者、校正者、ネイティブチェッカー、編集の各作業について、作業依頼を弊社登録メンバー（例：登録翻訳者）に外注依頼しております。この「外注依頼」が本件の「再委託」に当たるかどうかの確認をさせていただきたいです。 同項 b)に、「再委託の対象とする業務は、本件業務全体に大きな影響を及ぼさない補助的な業務」とありますが、弊社からの各種作業依頼が本翻訳業務そのものに該当するため、確認させていただきたいです。 | ご理解のとおり本件の「再委託」に当たりません。 |
| 3 | 別添様式1、2 | 別添様式1、2 | 「業務量」の基準単位は「日数」でよろしいでしょうか。 | ご理解のとおり、業務量（日数）となります。 |
| 4 | P. 11 別紙様式6、見積内訳表 | P.11 4 (1)、別紙様式6、見積内訳表 | タイ語、ラオス語、ミャンマー語についての単価設定について掲載されていますが、同じく単語間にスペースがなく単語数を勘定できないクメール語、ネパール語等南アジア言語が抜けています。これらは追加され | 該当箇所を下記のとおり変更します。 （下線部分が変更部分） 「翻訳・校閲業務に係る単価は、原稿において、日本語 800 字/ページあるいは外国語(中国 |

| 通番 | 該当頁 | 項目 | 質問 | 回答 |
|----|----------|---|---|--|
| | | | <p>るものと理解して良いでしょうか。</p> | <p>語、タイ語、ラオス語、ミャンマー語等を除く)400 単語/ページを基準とする。 中国語が原文の場合は、1 頁当り中国語 800 字程度の翻訳料を単価とする。 タイ語、ラオス語、ミャンマー語等単語数を勘定できない言語が原文で、日本語への翻訳の場合は、仕上がり原稿 1 頁当り日本語 800 字程度の翻訳料を単価とする。 タイ語、ラオス語、ミャンマー語等単語数を勘定できない言語が原文で、英語への翻訳の場合は、仕上がり原稿 1 頁当り英語 400 単語程度の翻訳料を単価とする。」</p> |
| 5 | P. 13-14 | <p>第3 プロポーザル作成要領 (2) 業務の実施方針・実施体制 イ.</p> | <p>この文言の中に、すべて記載する場合で、「英語の外国語訳を分けて記載すること」とありますが、日本語から外国語と、英語から外国語で、外国語が同じ言語の場合、日本語も英語も理解力の高く薦すべき同一の翻訳者を記載する場合は、ご提出するリストには、例えば「日及び英からロシア語」という形で1つにしても問題ございませんでしょうか。 (主要翻訳者の記載とは異なります)</p> | <p>1つにまとめていただいて構いませんが、翻訳経験年数、語学資格/スコアがそれぞれ言語毎に分かるようにご記載ください。</p> |
| 6 | 見積内訳表 | 見積内訳表 | <p>年間想定発注量がほとんどの言語で前回より大幅に減っておりますが、発注量は減るのでしょうか。</p> | <p>実績に基づき年間想定発注量を計算していますが、研修委託契約に翻訳業務が含まれる等状況により発注数は変動します。</p> |

| 通番 | 該当頁 | 項目 | 質問 | 回答 |
|----|-----|-----|---|---|
| 7 | 様式集 | 委任状 | 様式集に委任状がついていましたが、これは契約が成立した場合に提出するものとの認識でよろしいでしょうか。 | 委任状は、契約締結行為を含め代表者より代理人へ権限を委任する場合にお使いください。 |

以 上